

# 岡山県感染症週報 2020年第21週 (5月18日～5月24日)

## ◆2020年第21週(5/18～5/24)の感染症発生動向(届出数)

### ■全数把握感染症の発生状況

第20週	2類感染症	結核	2名(60代女1名、80代男1名)
	5類感染症	後天性免疫不全症候群	2名(20代男2名)
		梅毒	1名(20代男)
第21週	2類感染症	結核	4名(20代男1名、50代女1名、80代男1名、90代女1名)
	5類感染症	梅毒	4名(30代男2名、40代女1名、50代男1名)



### 【第22週速報】

○腸管出血性大腸菌感染症 1名(O157:幼児 男)の発生がありました(5月28日)。

1. [新型コロナウイルス感染症](#)は、2020年第21週までの累計報告数が25名となっています。全国や岡山県内の発生状況など詳しくは「[今週の注目感染症](#)」をご覧ください。
2. [重症熱性血小板減少症候群\(SFTS\)](#) および [日本紅斑熱](#)は、第21週までに各1名の報告がありました。これらの感染症は、病原体(SFTSウイルスおよび日本紅斑熱リケッチア)を保有するマダニに咬まれることで感染します。この時期、ダニは活発に活動します。ダニに咬まれないための予防対策等についてはコラム「[ダニが媒介する感染症に注意しましょう!](#)」をご覧ください。

### 流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	➡		RSウイルス感染症	➡	
咽頭結膜熱	➡	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	★
感染性胃腸炎	➡	★	水痘	➡	★
手足口病	➡	★	伝染性紅斑	➡	★
突発性発疹	➡	★	ヘルパンギーナ	➡	★
流行性耳下腺炎	➡	★	急性出血性結膜炎	➡	
流行性角結膜炎	➡		細菌性髄膜炎	➡	
無菌性髄膜炎	➡		マイコプラズマ肺炎	➡	
クラミジア肺炎	➡		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	

【記号の説明】 前週からの推移：   
 ↑：大幅な増加    ➡：増加    ➡：ほぼ増減なし    ↓：減少    ↓：大幅な減少  
 大幅：前週比100%以上の増減    増加・減少：前週比10～100%未満の増減

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。(発生数が多いことを示すものではありません。)  
 空白：発生なし    ★：わずか    ★★：少し    ★★★：やや多い    ★★★★：多い    ★★★★★：非常に多い

## 今週の注目感染症

### ★新型コロナウイルス感染症

#### ●新型コロナウイルス感染症とは

新型コロナウイルス感染症は、2019年12月に中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、世界中で感染が拡大している呼吸器症状等を呈する感染症です。日本では、2020年1月15日に1例目の感染者が確認されました。一般的な状況における感染経路の中心は、飛沫感染と接触感染が考えられますが、閉鎖空間において近距離で多くの人と会話する等の一定の環境下であれば、咳やくしゃみ等の症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています(WHOは、5分間の会話で1回の咳と同程度の飛沫(約3,000個)が飛ぶと報告しています)。

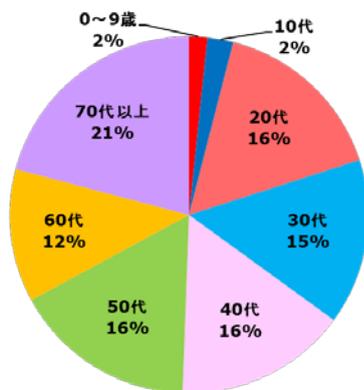
## ●症状

1～14日（通常5～6日）の潜伏期間の後に、主に発熱、咳、全身倦怠感等の風邪のような症状が出現しますが、頭痛、下痢、結膜炎、嗅覚障害、味覚障害等を呈する場合があります。国内の症例では、発熱や呼吸器症状が1週間前後持続することが多く、強い倦怠感を訴える方が多いようです。高齢者や基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患など）のある方がり患すると、重症化しやすいことが分かっており、注意が必要です。他方、感染しても息苦しさなどを認めない比較的軽症の例や無症状の方も多くみられます。

## ●発生状況

### ・全国

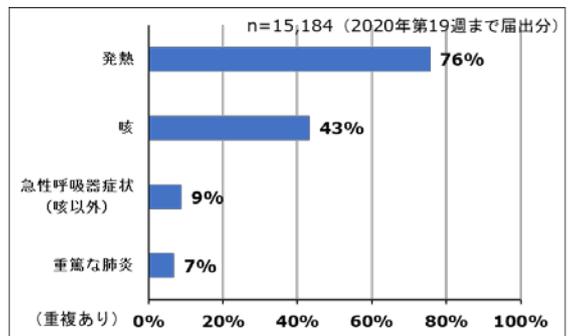
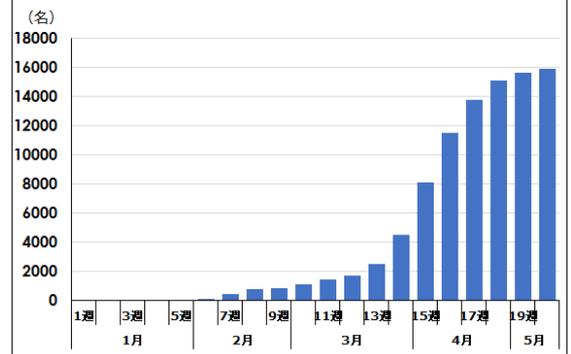
2020年5月28日0時現在までで、国内感染者は累計で16,683名、国内死亡者は867名、退院または療養解除となった者は14,147名となっています（チャーター便、空港検疫含む。厚生労働省ホームページより）。年齢階級別では、10代以下が少なく、20代以上では、各年代でほぼ同程度り患しています。



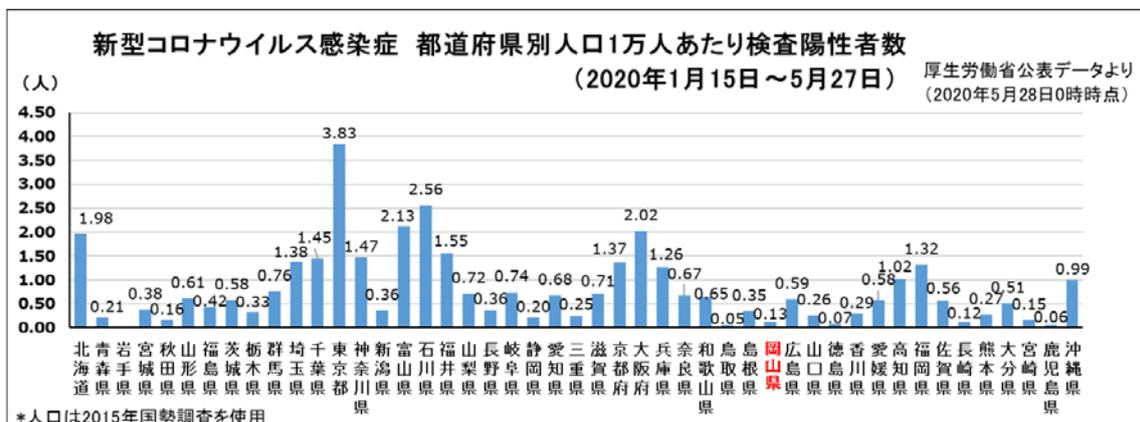
全国、年齢階級別累計割合  
感染症発生動向調査システムより(2020年第1週～第20週)

### 全国、週毎累計

感染症発生動向調査システムより(2020年第1週～第20週)



全国、症状別割合  
IDWR2020年18/19号(国立感染症研究所)より



\*人口は2015年国勢調査を使用

## ・岡山県(最新情報)

2020年5月28日現在までで、岡山県内では25名（男性15名、女性8名、性別非公表2名）の新型コロナウイルス感染症患者が発生しました（5月21日までに全員退院）。

詳細は、[新型コロナウイルス感染症について（岡山県健康推進課ホームページ）](#)をご覧ください。

## ●感染予防にあたって・・・

感染防止の3つの基本『①身体的距離の確保（できるだけ2m間隔を空ける）、②マスクの着用、③手洗い』に留意しましょう。あわせて、日常生活では引き続き「3密（密閉・密集・密接）の回避」、「こまめに換気する」、「咳エチケットの徹底」等に努めつつ、発熱または風邪症状がある場合は無理をせず自宅で療養しましょう。

また、感染が流行している地域への移動は控えましょう（その他詳細は、[「新しい生活様式」の実践例（厚生労働省ホームページ）](#)をご覧ください）。

## 【新型コロナウイルスによる感染症について】

現在、世界各国で、新型コロナウイルスの感染者が報告されています。

日本でも多くの感染者が発生しており、岡山県でも感染者が確認されているところです。

本疾患の予防には、①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いの感染防止の3つの基本に留意し、日常生活では密閉空間・密集場所・密接場面の3条件(3つの密)の重なりを避けること、こまめな換気、咳エチケットの徹底が重要です。

次のいずれかに該当する方は、すぐに新型コロナウイルス受診相談センターへ連絡してください。

- 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱などの強い症状のいずれかがある場合
- 重症化しやすい方（※）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

（※）高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD）などの基礎疾患のある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方（妊婦の方についても、念のため同様にお考えください。）

（症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。）

### <新型コロナウイルス受診相談センター連絡先(24時間対応)>

施設名	電話番号	FAX番号	所管の市町村	
岡山市保健所	086-803-1360	086-803-1337	岡山市	
倉敷市保健所	086-434-9819	086-434-9805	倉敷市	
備前保健所	086-272-3934	086-271-0317	玉野市、瀬戸内市、吉備中央町	
備前保健所東備支所	0869-92-5180	0869-92-0100	備前市、赤磐市、和気町	
備中保健所	086-434-7072 注1	086-434-7024 注2	086-425-1941	総社市、早島町
備中保健所井笠支所	0865-69-1675	086-434-7072 (土日祝日の9時～17時のみ)	0865-63-5750	笠岡市、井原市、浅口市、里庄町、矢掛町
備北保健所	0866-21-2836		0866-22-8098	高梁市
備北保健所新見支所	0867-72-5691		0867-72-8537	新見市
真庭保健所	0867-44-2990	0867-44-2917	真庭市、新庄村	
美作保健所	0868-23-0163	0868-23-6129	津山市、鏡野町、久米南町、美咲町	
美作保健所勝英支所	0868-73-4054	0868-72-3731	美作市、勝央町、奈義町、西粟倉村	

※岡山市保健所及び倉敷市保健所は、平日の21時～9時および土日祝日の17時～9時は留守番電話につながりますので、応答メッセージに従ってください。

※備中保健所(井笠支所含む)及び備北保健所(新見支所含む)は17時～9時は留守番電話につながりますので、応答メッセージに従ってください。

※FAXの受付時間は、平日9時～17時です。

注1 平日9時～17時

注2 注1以外

### <関連リンク>

[新型コロナウイルス感染症について（岡山県健康推進課）](#)

[新型コロナウイルス感染症について（厚生労働省）](#)

なお、新型コロナウイルスによる感染症について不安がある場合など、一般的なお問い合わせについては下記の岡山県の相談窓口をご活用ください。

新型コロナウイルス感染症電話相談窓口（24時間対応）

電話：086-226-7877 FAX：086-225-7283

以下の3つの条件(3つの密)が重なるような場所を避けましょう!

①換気の悪い  
密閉空間



②多数が集まる  
密集場所



③間近で会話や  
発声をする  
密接場面



新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「咳エチケット」です。

手洗い

手洗いの前に  
・爪は短く切っておきましょう  
・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのぼすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗いします。



手首も忘れずに洗います。

手洗い後は十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよくふき取って乾かします。

咳エチケット

電車や職場、学校など  
人が集まるところでやろう

他の人にうつさないために!



マスクを着用する  
(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで  
口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う



何もせずに  
咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを  
手でおさえる

## ダニが媒介する感染症に注意しましょう！

野外にいる吸血性のダニとして、マダニやツツガムシなどが知られており、これらのダニの中には、**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、日本紅斑熱、つつが虫病**などを引き起こす病原体を保有しているものがあります。

ダニは、春から秋(3～11月)にかけて活発に活動します。

野外で作業する際は、肌の露出を少なくし、こまめに虫除け剤(ディートやイカリジンを含む)を噴霧するなどし、ダニに咬まれないようにしましょう。また、野外での作業後は、シャワーや入浴を行い、ダニが付いていないかチェックをしましょう。



吸血後の  
フトゲチマダニ♀

### ★★ くわしくは、こちらをご覧ください ★★

- ⇒ [重症熱性血小板減少症候群\(SFTS\)に関するQ&A](#) (厚生労働省)
- ⇒ [日本紅斑熱とは](#) (国立感染症研究所)
- ⇒ [ツツガムシ病とは](#) (国立感染症研究所)
- ⇒ [マダニ対策、今できること](#) (国立感染症研究所)



ヤマアラシチマダニ

## 風しんの抗体検査(無料)を受けましょう！

### ＜妊娠を希望する女性や同居する家族の方＞

岡山県・岡山市・倉敷市では、先天性風しん症候群(CRS)※の予防を目的として、**風しんの無料抗体検査**を実施しています。県内の抗体検査実施医療機関において、窓口で費用を負担することなく検査を受けることができます。検査の詳細は、下記のホームページ

岡山市・倉敷市以外 → [風しんの無料抗体検査が受けられます](#) (岡山県健康推進課)

岡山市 → [風しんの無料抗体検査](#)

倉敷市 → [風しん抗体検査について](#) をご覧ください。

### ＜1962(昭和37)年4月2日から1979(昭和54)年4月1日までに生まれた男性＞

風しんの抗体保有率が低い1962年4月2日から1979年4月1日までに生まれた男性に対して、まずは**無料で抗体検査**を受け、**抗体価が低い場合は風しんの予防接種を無料で受けることができる**制度が、全国的に始まりました(2019年4月から2022年3月31日まで)。

市町村から対象者に、順次風しんクーポン券が送付されることとなっており、以下のリストに掲載されている医療機関で、無料で抗体検査が受けられます。

### [市町村から届いたクーポン券を使用できる岡山県内の医療機関リスト](#)

※妊娠初期に風しんに罹患すると、出生児に先天性風しん症候群(CRS)と総称される障がいを引き起こすことがあります。先天性心疾患、難聴、白内障が3大症状です。

岡山県の2019年4月～2020年2月の風しんのクーポン使用実績(抗体検査)は、18.7%と未だに低い状況です！

CRSを防ぐためにも、必要な方は確実に予防接種を受けましょう！

[風しんの追加的対策について](#) (厚生労働省)  
[風疹に関する疫学情報\(2020年\)](#) (国立感染症研究所)



©岡山県「ももっち」

# 6 / 1 ~ 6 / 7 は『HIV検査普及週間』です！

早期発見！～防ごう、いきなりエイズ～



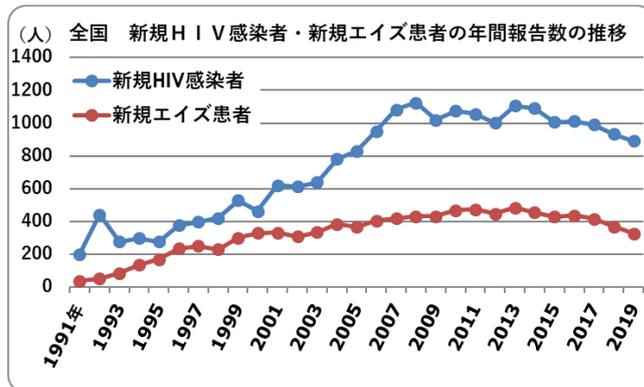
レッドリボン  
エイズに対する理解と  
支援の象徴

岡山県は、『受けやすい検査』『戦略的な普及啓発』『関係者の連携強化』を3本柱に、全県を挙げて、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染防止と『いきなりエイズ\*』防止に取り組む、「おかやまエイズ感染防止作戦」を実施しています。その作戦の重点実施期間である「HIV検査普及週間（6/1～6/7）」の事業として、6月中に県内の保健所・支所において、啓発や夜間の特例検査を予定しています。なお、特定の保健所・支所で実施を予定しており、詳細はこちらをご覧ください。 → [【おかやまエイズ感染防止作戦】](#)

※『いきなりエイズ』とは、エイズ（AIDS 後天性免疫不全症候群）発症によって初めてHIVに感染したことが判明することです。HIV感染後エイズ発症まで、通常数年程度の期間を要するとされていますが、近年発症の早い症例もみられています。HIV感染の治療の遅れとともに予期せぬ感染のひろがりにつながる可能性もあり、対策が必要です。

## 1. 全国の新規HIV感染者と新規エイズ患者

2019年の国内における新規HIV感染者および新規エイズ患者（いきなりエイズ）報告数は1,219件（速報値）であり、2017年からは毎年微減しています。しかし、新規エイズ患者報告数は、全新規報告数の約3割のまま推移しており、HIV検査が未だ十分に行き届いていないことが示唆されています。

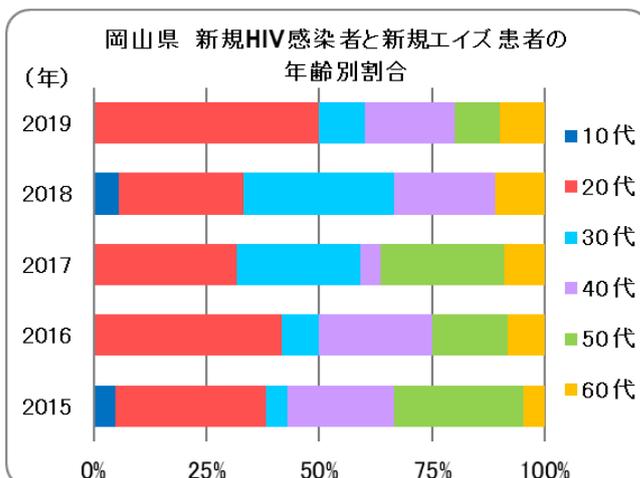
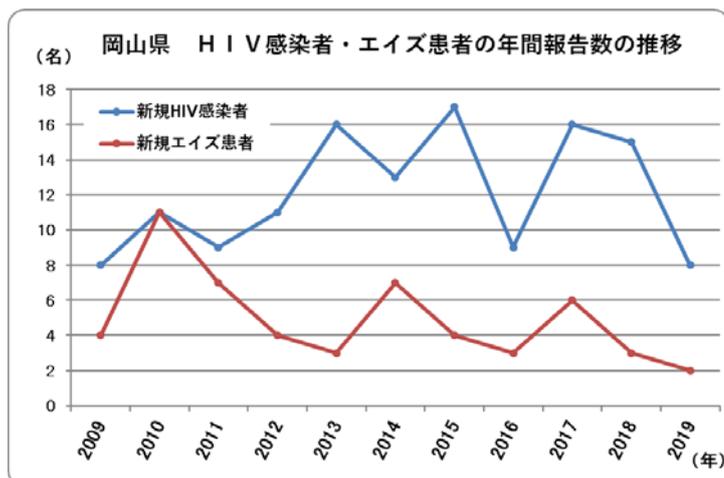


新規HIV感染者 …… HIVに感染しているものの、受診時にエイズを疑う症状がなかったもの。

新規エイズ患者 …… 受診時、すでにエイズを発症しており、「エイズ（AIDS）」患者として報告されたもの（す  
でにHIV感染者と報告され、後にエイズを発症した症例は除く。）。

## 2. 岡山県の新規HIV感染者と新規エイズ患者

2019年の岡山県における新規HIV感染者及び新規エイズ患者報告数は10件であり、男性が9名、女性が1名でした。年齢別割合をみると、20～60代で発生が報告されており、特に20代の割合が高くなっています（全体の50%）。全新規報告数はほぼ半減（2018年18名）しましたが、新規エイズ患者は引き続き報告されています（2名）。

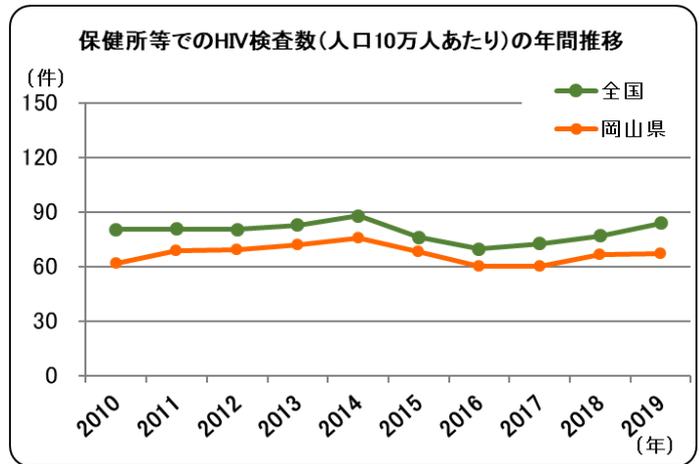


### 3. HIV 検査について

岡山県内で自発的に HIV 検査を受けた人の数は、2015 年から減少傾向にあり、2018 年からは微増していますが、依然として全国と比較して少ない状況が続いています。

HIV に感染してからエイズ発症までは、通常数年程度自覚症状がない時期が続くため、感染していることに気づきにくく、知らないうちに大切な人にうつしてしまう可能性があります。HIV 治療は急速に進歩しており、早期に感染を知り発症する前に適切な治療を開始できれば、定期的に通院しながら今までとほぼ同じ生活を送ることが可能です。

HIV に感染しているかどうかは、HIV 検査を受けないとわかりません。早期発見・早期治療がエイズ発症防止や感染拡大防止にも結びつくことから、保健所（無料・匿名）や拠点病院（一律 1,000 円）での HIV 検査を積極的に利用しましょう。



### 4. HIV と新型コロナウイルス感染症について

これまでのところ、HIV 陽性者が特に新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高いことを示すエビデンスはありませんが、一般人口層と同様、高齢の HIV 陽性者や、心臓や肺に疾患を抱える HIV 陽性者は、新型コロナウイルス感染症の感染や重症化のリスクが高くなると考えられます。新型コロナウイルスへの暴露を最小限に抑え、感染を防ぐために推奨されている予防手段を実行することは大切であり、そのうえで HIV の治療やケアも継続していけるように準備することが重要です。詳細はこちら→[「HIV と COVID-19 について」](#)（国連合同エイズ計画（UNAIDS））

**岡山県内では、HIV 検査普及週間中に特定の県内保健所・支所において、定休日以外や夜間でも検査を実施しています。**

- \*検査は無料・匿名で受けることができます。
- \*通常検査では 1 週間後、迅速検査では 1 時間後に結果をお知らせしています。
- \*確実な検査結果を得るためには、感染機会のあった日から、3 か月たって検査することをおすすめします。
- \*事前に電話で予約が必要です(保健所によっては予約不要の日時もあります)。

○県内の保健所・支所における HIV 検査普及週間関連検査の日時、予約方法、HIV 以外の性感染症や肝炎の検査については[こちら](#)から

**県内 10 か所のエイズ治療拠点病院では、月曜日から土曜日まで、毎日輪番で検査を実施しています。**

- \*いずれの拠点病院でも一律 1,000 円で受けられます(要予約)。
- \*検査は原則匿名では受けられませんので、ご注意ください。
- \*検査結果は検査を受けた日(約 1~2 時間後)にお知らせします。
- \*確実な検査結果を得るためには、感染機会があったと思われる日から、8 週間以上経過していることが必要です。
- \*事前に電話での予約が必要です。

検査日時はこちら

→ [【 令和 2 年度 エイズ治療拠点病院における HIV\(エイズ\)検査実施日時 】](#)

保健所別報告患者数 2020年 21週(定点把握)

( 2020/05/18～2020/05/24 )

2020年5月28日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	3	0.06	1	0.07	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	0.35	10	0.71	4	0.36	-	-	1	0.14	-	-	1	0.50	3	0.50
感染性胃腸炎	85	1.57	21	1.50	20	1.82	20	2.00	2	0.29	16	4.00	4	2.00	2	0.33
水痘	2	0.04	-	-	1	0.09	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-
手足口病	5	0.09	4	0.29	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	6	0.11	-	-	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.67
突発性発疹	17	0.31	5	0.36	8	0.73	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	0.04	1	0.07	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	2	0.04	-	-	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

( - : 0 or 0.00 ) ( 空白 : 定点なし )

保健所別報告患者数 2020年 21週(発生レベル設定疾患)

( 2020/05/18～2020/05/24 )

2020年5月28日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	3	0.06	1	0.07	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	0.35	10	0.71	4	0.36	-	-	1	0.14	-	-	1	0.50	3	0.50
感染性胃腸炎	85	1.57	21	1.50	20	1.82	20	2.00	2	0.29	16	4.00	4	2.00	2	0.33
水痘	2	0.04	-	-	1	0.09	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-
手足口病	5	0.09	4	0.29	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	6	0.11	-	-	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.67
ヘルパンギーナ	2	0.04	1	0.07	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	2	0.04	-	-	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2020年 第21週 2020/05/18～2020/05/24 )

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	3	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	-	-	-	4	6	4	-	1	3	-	-	-	1	
感染性胃腸炎	85	-	8	8	5	5	4	3	1	8	4	4	16	2	17
水痘	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病	5	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	6	-	1	1	-	1	1	-	-	1	-	1	-	-	
突発性発疹	17	-	6	5	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

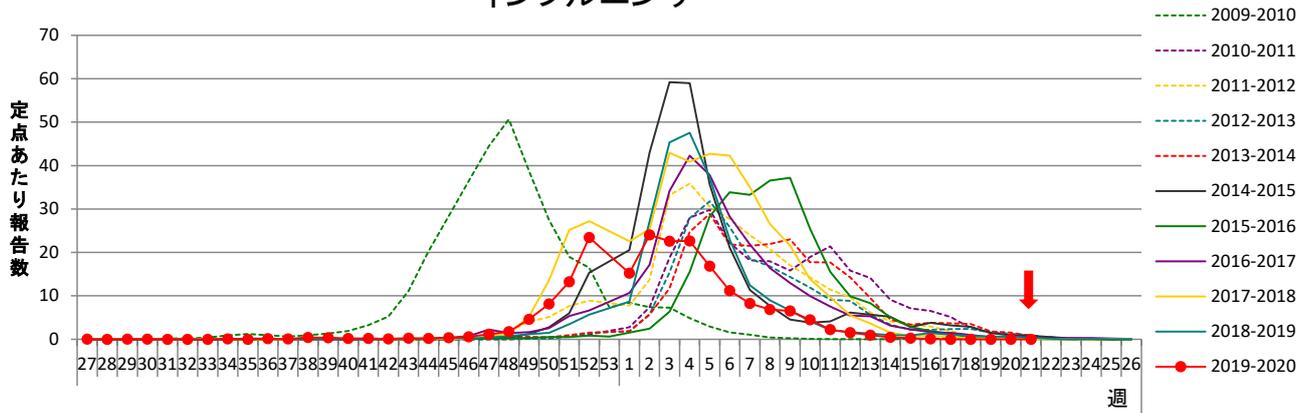
( - : 0 )

# 全数把握 感染症患者発生状況

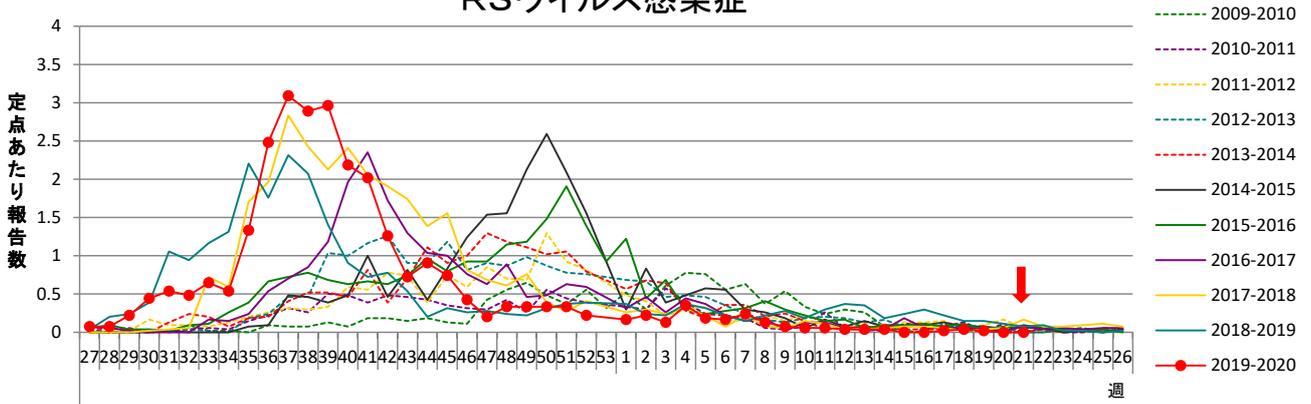
2020年 21週

分類	疾病名	2020		2019	疾病名	2020		2019	疾病名	2020		2019
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	4	108	304	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-	新型コロナウイルス感染症(指定感染症)	-	25	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	4	腸管出血性大腸菌感染症	-	11	61
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	1	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	1	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	1	1
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	1	3
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	1	3
	デング熱	-	-	7	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-	日本紅斑熱	-	1	3
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ポツリヌス症	-	-	1	マラリア	-	-	-
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	1	リッサウイルス感染症	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	-	35	57
	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	10	14	ウイルス性肝炎	-	1	12	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	-	12
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)		-	-	2	急性脳炎	-	4	19	クリプトスポリジウム症	-	-	-
クロイツフェルト・ヤコブ病		-	1	5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	2	6	後天性免疫不全症候群	-	9	10
ジアルジア症		-	-	-	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	1	4	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
侵襲性肺炎球菌感染症		-	7	45	水痘(入院例に限る。)	-	2	9	先天性風しん症候群	-	-	-
梅毒		4	66	190	播種性クリプトコックス症	-	1	1	破傷風	-	3	3
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	3	百日咳	-	78	428
風しん		-	1	3	麻しん	-	-	-	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

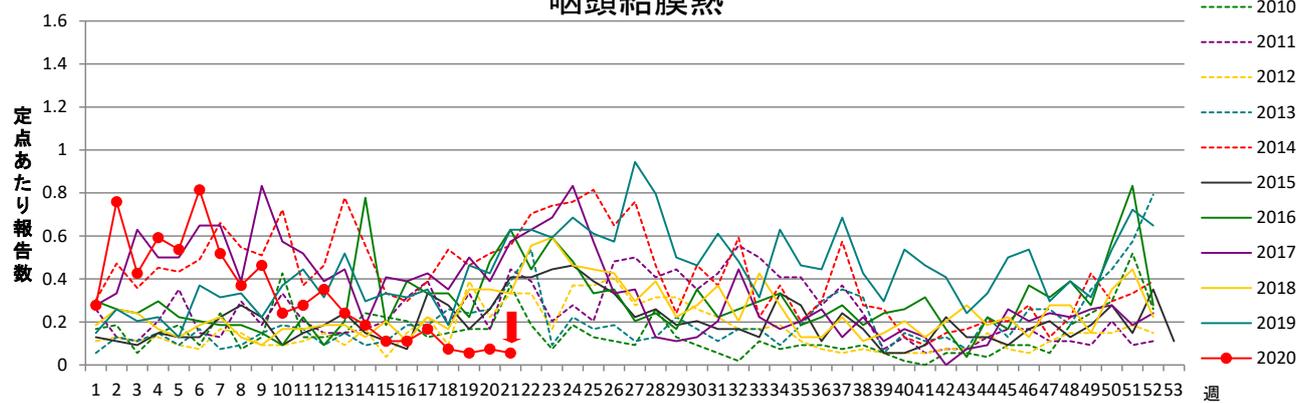
### インフルエンザ



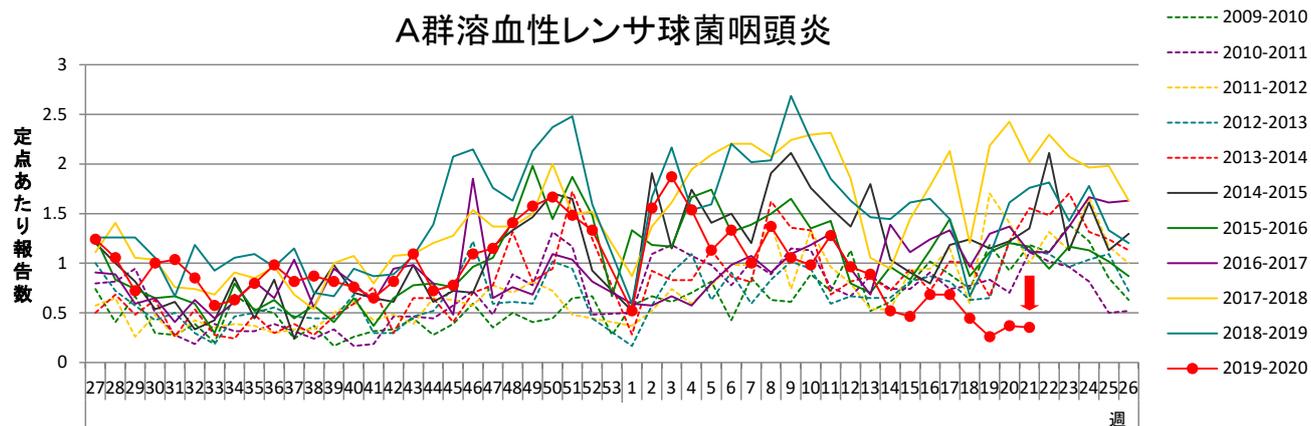
### RSウイルス感染症



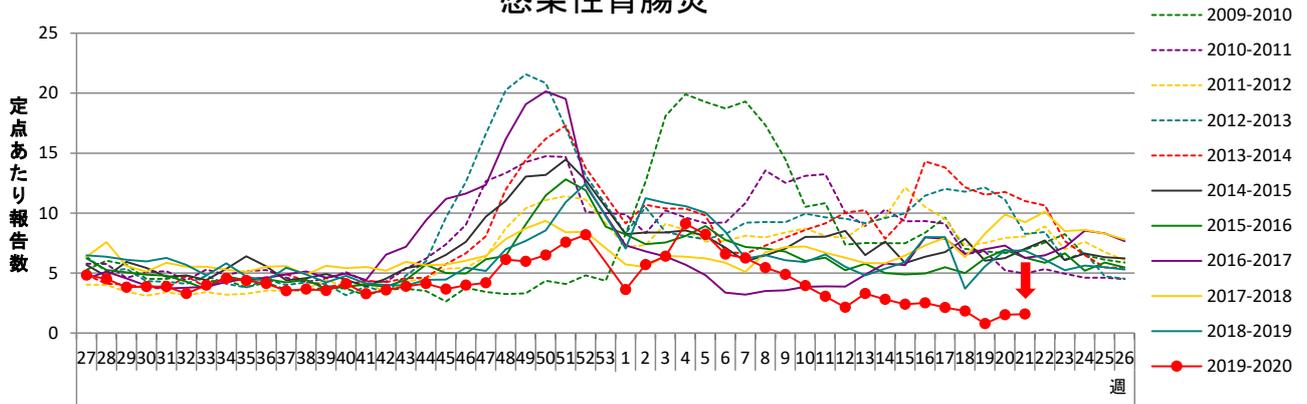
### 咽頭結膜熱



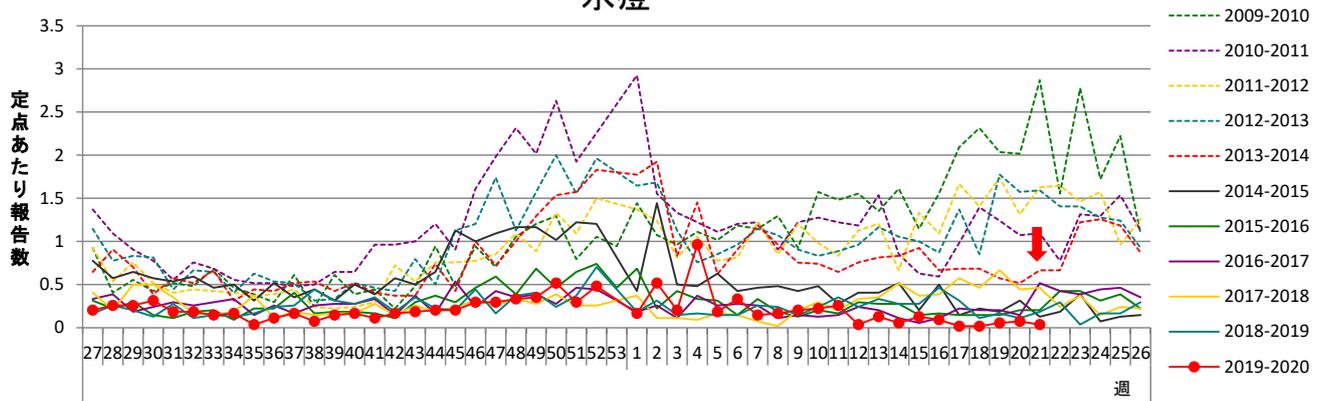
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



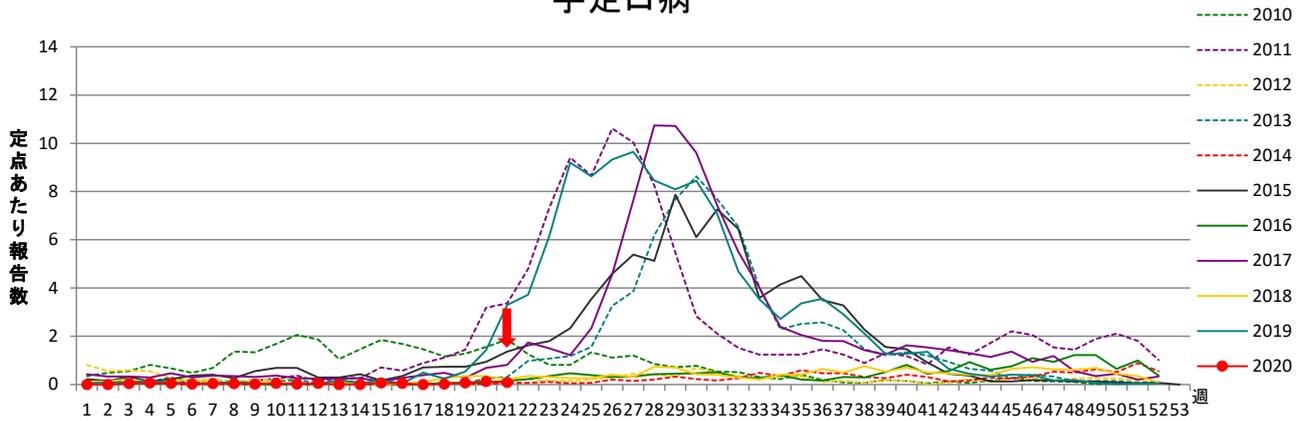
### 感染性胃腸炎



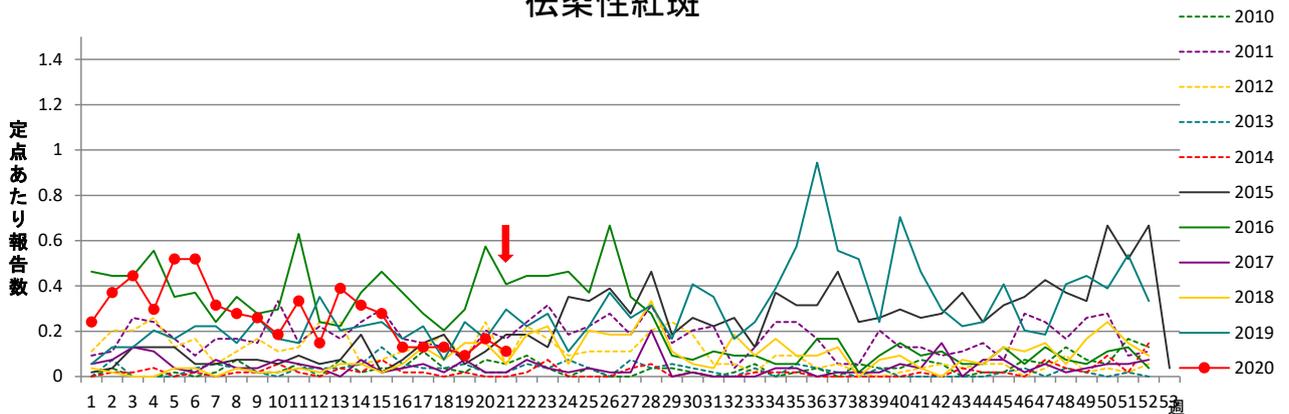
### 水痘



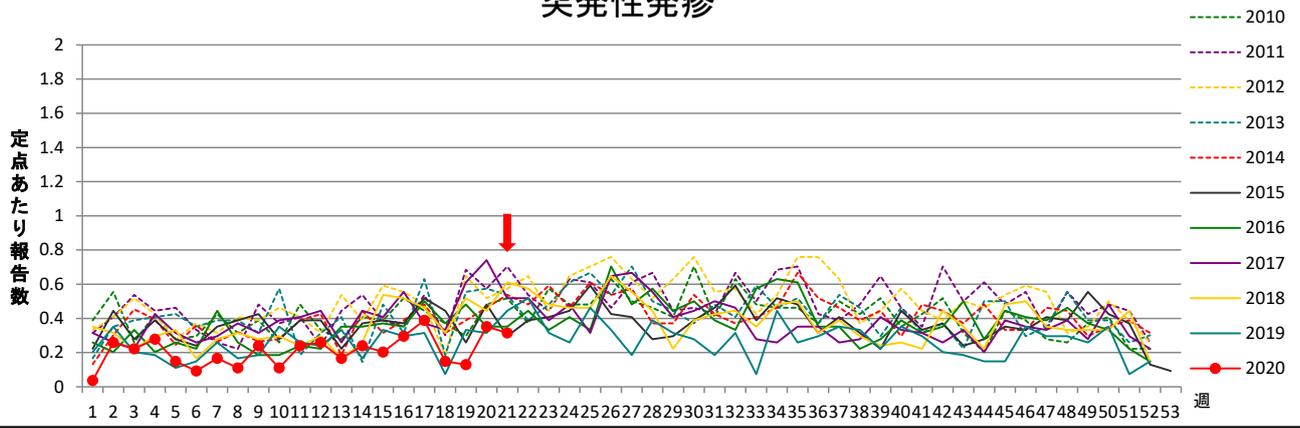
### 手足口病



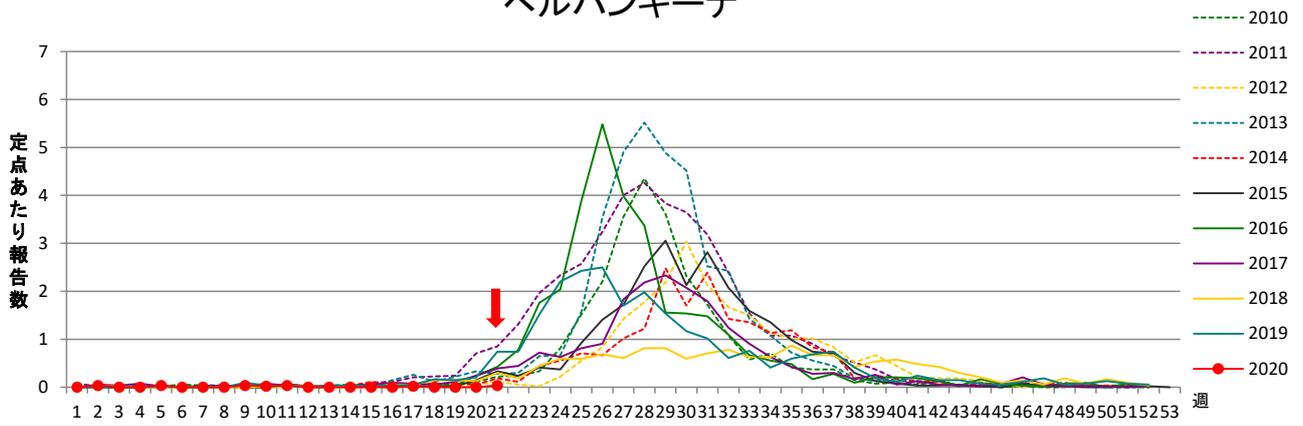
### 伝染性紅斑



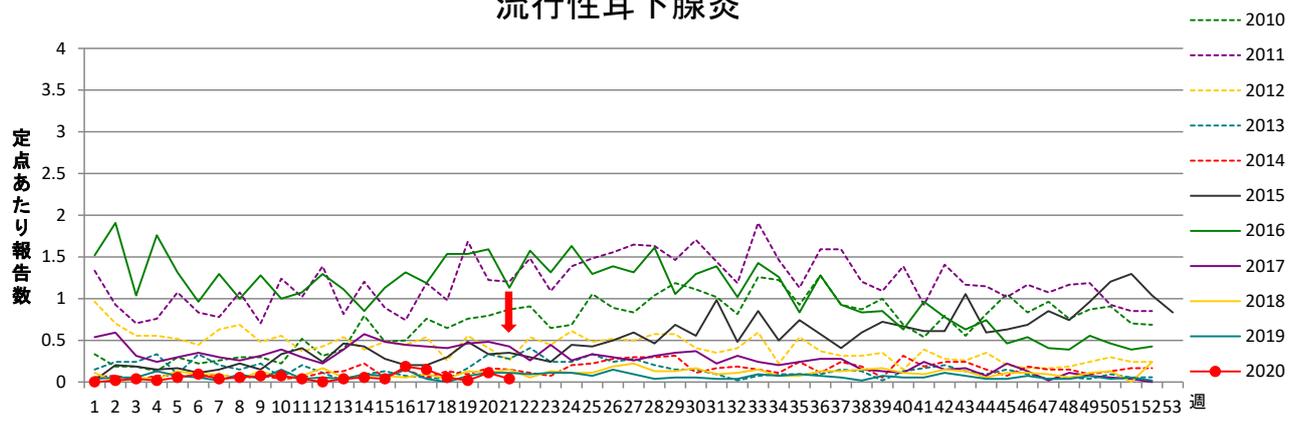
### 突発性発疹



### ヘルパンギーナ



### 流行性耳下腺炎



### 急性出血性結膜炎

